

「実践報告資料」

高等学校における主権者教育の基本方針及び全体計画の作成

蒼下 和敬

(教育学部附属教育実践総合センター現職教員研修員・山口県立響高等学校教諭)

0. キーワード

「山口県立響高等学校 主権者教育計画」「市民性教育」

1. 目的

本報告は、山口県立響高等学校における主権者教育についての基本方針及び全体計画(平成28年度から運用開始)を、各研究会における実践発表や各種報告の際の参照資料として、校長の許可を得て公表したものである。

本報告を基礎資料として、「主権者教育にどう向き合うか～学校教育活動全体における位置づけと地理～」(地理教育研究会「地理教育研究会報」(平成28年5月号))ほか、長崎大学教育学部附属教育実践総合センター紀要などにおいて発表を予定しているので、ご参照いただきたい。

2. 資料内容

次ページ以降に掲載している。

主権者(市民性)教育についての基本方針及び全体計画(平成28年度)

山口県立響高等学校

①目標

主権をもった市民として必要となる、民主的な社会についての知識及び概念の獲得と、社会や世界の諸課題とその背景を主体的に考察し、自らの考えを論理的に説明する力を身につけることで、市民として課題を解決してよりよい社会の実現をめざそうとする態度を育成する。

②市民性育成の観点

I 知識・概念を習得する…政治や選挙に関する基礎的な知識・概念の学習

(日本国憲法、政治制度や選挙の仕組みなど、政治や選挙に関する基礎的な知識・概念の育成。)

II 地域社会に参加する…社会参加を促す取組

(ボランティア活動やインターンシップ、地域と連携した教育活動など体験的・実践的な学習を通じた行動力の育成。)

III 自分で考え判断する…政治的リテラシーの育成

(社会的課題についての教養的知識や、それらを活用して論理的に思考する力、また自らの考えを論理的に主張したり、他者の考えを公平公正に吟味する力の育成。また、社会の問題と向き合おうとする姿勢の育成。)

IV 投票に向けて準備する…実際の投票行動を促す取組

(模擬選挙や模擬裁判・議会などを通じた体験的学習、選挙や政治の仕組みや留意点など実践的な知識の育成。)

(山口県教育委員会「高等学校等における主権者教育の推進に向けて」を参考に作成)

③本校における主権者教育の推進

主権者教育の根本である政治的リテラシーの育成や市民性の育成については、主権者教育を担当する教員がコーディネーターとなりながら、教育の理念及び関連法規に基づき、学校教育全体で取り組む。具体的には、各教科・科目・領域の特長を踏まえて、それぞれに連携しながら主体的に取り組むことで総体としての政治的リテラシー及び市民性の育成をめざす。

教育は、「人格の完成をめざす」ことを目的としており、教育活動のすべてが社会に生きる市民を育む活動であるといえる。後に示す各教科・科目・領域の指導項目は、その中でも特に、市民性形成が期待できるものであると考える。これらの教育活動を主体的・積極的に進めることで、総体としての市民性教育を無理なく計画的に実施できる。また、教育は学校教育のみにとどまらないので、主権者教育に関しても、教育の理念及び関連法規に基づき、家庭・地域・関係団体・関係機関などと適切に連携して、それぞれの特長を活かしながら効果的な指導を行う。

④副教材「私たちが拓く日本の未来」の取り扱い

本校の教育活動全体で主権者教育を進める上で、全体をとりまとめる教材として位置づける。全校生徒に配付し、LHRや各教科・科目・領域において、指導の際には計画的かつ主体的に判断し、必要に応じて適宜活用することとする。職員室にも教材及び指導資料を常置し、指導上の参考書としても役立つよう配慮する。

⑤各教科・科目・領域における指導単元・項目

教科名	第1学年	観点：学期	第2学年	観点：学期	第3学年	観点：学期
地理歴史			<ul style="list-style-type: none"> ・地理A「現代世界の特色と世界の諸地域の課題」(国家、国家間の結びつき、貿易、宗教、言語と人々の生活、生活文化のグローバル化) (諸地域の特色や制度、課題点の研究発表活動) (地球的課題の特性、世界の人口問題、食糧問題、都市居住問題、資源エネルギー問題、環境問題、課題の解決に向けて) (GISによる地理情報処理、自然環境と防災) ・地理A「身近な地域の課題の研究発表活動」 ・日本史A「近代の日本と世界」 (近代国家の形成と国際関係の推移、近代産業の発展と両大戦をめぐる国際関係) ・日本史A「現代の日本と世界」 (戦後復興と日本の再出発、独立後の政治と対外関係、現代日本の国民生活) ・世界史A「世界の一体化と日本」 (諸文明と国際秩序、都市国家、オスマン帝国の統治、ヨーロッパ主権国家体制、産業革命、労働運動と社会主義、独立・市民革命、世界市場の形成、植民地化) ・世界史A「地球社会と日本」 (帝国主義、世界戦争と平和、3つの世界と日本の動向、地球社会の歩みと課題、持続可能な社会への展望) 	<ul style="list-style-type: none"> Ⅲ 1 Ⅲ 1 Ⅲ 1 Ⅲ 2 Ⅲ 3 Ⅲ 1 Ⅲ 2 Ⅲ 1, 2 Ⅲ 2, 3 Ⅲ 2, 3 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界史B「古代世界の文明・国家」 ・世界史B「イスラーム世界、ヨーロッパ世界、アジア世界の社会と政治の史的展開」 ・世界史B「近世ヨーロッパ・アメリカの社会と近代国民国家の発展」 ・世界史B「帝国主義と植民地、二つの世界大戦」 ・世界史B「冷戦と第三世界の独立、現在の世界」(戦後世界秩序の形成、冷戦、第三世界、日本の経済復興、石油危機、社会主義世界の変容とグローバル化、途上国の民主化と独裁政権の動揺、地域紛争の激化と貧困) ・日本史B「古代社会と律令国家、摂関政治」 ・日本史B「武家社会の形成」 ・日本史B「幕藩体制(統治機構、身分制度、経済制度)」 ・日本史B「近代国家の成立(明治維新、立憲国家、大陸政策、近代産業)」 ・日本史B「二つの大戦とアジア(2つの世界大戦、政党政治)」 ・日本史B「現代の世界と日本(占領下の政策と主権の回復、55年体制と高度経済成長、現代の情勢)」 ・地理B「地図と理的技能(GISをとおした地理情報処理、身近な地域の調査と発表)」 ・地理B「現代世界の系統地理的考察」 (自然環境に関する諸問題、農林水産業と食糧問題、資源エネルギー問題、工業とグローバル化、流通と消費、人口と都市・村落の問題、生活文化、民族と国家、領域、国際関係) ・地理B「現代世界の地誌的考察」(世界の諸地域の課題研究発表) ・地理B「現代世界と日本(防災、貿易、超高齢化、グローバル化、課題解決に向けて、持続可能な社会へ)」 	<ul style="list-style-type: none"> Ⅲ 1 Ⅲ 1, 2 Ⅲ 2 Ⅲ 2 Ⅲ 3 Ⅲ 1 Ⅲ 2 Ⅲ 2 Ⅲ 2 Ⅲ 2 Ⅲ 2, 3 Ⅲ 3 Ⅲ 1 Ⅲ 1, 2, 3 Ⅲ 2 Ⅲ 3

教科名	第1学年	観点・学期	第2学年	観点・学期	第3学年	観点・学期	
公民	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会「現代に生きる私たちの課題」(地球環境問題、資源エネルギー問題、科学技術の発達と生命の問題、高度情報社会) ・現代社会「現代の社会生活と青年」(青年期と自己形成、職業と社会参加) ・現代社会「現代の民主政治と日本国憲法」(民主政治の歩み、日本国憲法と三大原則、立法、司法、行政、地方自治、選挙制度、政党政治) ・現代社会「現代の経済社会と経済活動のあり方」(経済社会の変容、企業活動と市場機構、財政、金融、戦後日本経済の歩み、中小企業、農業問題、労働問題、少子高齢化問題、公害と保全、消費者保護とCSR) ・現代社会「国際社会の動向と日本の果たすべき役割」(国際経済、地域統合、新興国の動き、南北問題、国家主権と国際法、国際連合、核と軍縮、人種・民族問題、日本の国際貢献) 	III 1 III 1 III 2 IV III 2, 3 II 2, III 3			<ul style="list-style-type: none"> ・政治経済「現代の政治(政治と法、人権保障と法の支配、議会制民主主義、日本国憲法と三大原則、司法・行政・立法制度と機構、地方自治、政党政治と選挙、世論、国際社会と国際法、国際連合、国際政治の動向、国際紛争と難民問題、国際平和と日本の役割)」 ・政治経済「現代の経済(経済主体と経済活動、市場経済、財政・金融、日本経済の歩み、中小企業、農業の現状と課題、消費者問題、高度情報社会、労働問題、社会保障制度、環境保全と資源エネルギー問題)」 ・政治経済「現代世界の諸課題(少子高齢化と社会保障、地域社会の変容と住民生活、雇用と労働、産業構造の変化と中小企業、食料と農業問題、地球環境問題、資源エネルギー問題、国際経済格差、人種民族紛争、国際社会における日本の役割)」 ・政治経済「社会研究発表」 ・倫理「青年期の課題と自己形成」 ・倫理「人間としての自覚(源流思想、宗教思想)」 ・倫理「国際社会に生きる日本人としての自覚(幕末思想、啓蒙思想)」 ・倫理「現代に生きる人間の倫理(自由で平等な社会の実現、人間性の回復と主体性の確立、現代の思想と人間像、社会参加)」 ・倫理「現代の諸課題と倫理(生命の問題と倫理、環境の問題と倫理、家族・地域の問題と倫理、情報社会と倫理、宗教文化と倫理、国際平和と人類の福祉)」 	III 1, IV 2 III 2 III 2, III 3 III 3 III 1 III 2 III 2 II 2, III 3 III 1, 3	
数学	個別の単元で特段に取り上げてはいないが、全体を通して、「自ら課題を見だし、解決するための構想を立て、考察・処理し、その過程を振り返る」ことや、根拠を明示して論理的に表現したり説明したり、議論する力の育成をめざしている。						III 通年

教科名	第1学年	観点：学期	第2学年	観点：学期	第3学年	観点：学期	
国語	<ul style="list-style-type: none"> 国総「彼らがそれを学ばなければならぬ理由」 国総「ボランティアの報酬」 国総「テクノロジーと人間」 国総「意見と根拠の見分け方」 国総「メールと手紙」 国総「スピーチをしよう」 国総「ブックトークをしよう～戦争と文学をテーマに～」 国総「ディベートをしよう」 国総「小論文を書こう」 国総「会話と話し合いの技法」 国総「レポートを書こう」 	III：1 II：1 III：1 III：2 III：2 III：2 III：2 III：2 III：2 III：2 III：2	<ul style="list-style-type: none"> 現代文「『迷う』力のすばらしさ」 現代文「社会生活と文章」 現代文「人工の自然～科学技術時代の今を生きるために～」 	III：1 III：1 III：2	<ul style="list-style-type: none"> 現代文「どんな人になりたかったか」 現代文「稼ぐだけが目的か」 現代文「家族化するペット」 	III：2 III：2 III：2	
理科	<ul style="list-style-type: none"> 科学と人間生活「情報伝達技術の発展」 科学と人間生活「エネルギー資源の活用と交通手段の発展」 科学と人間生活「医療技術の発展」 科学と人間生活「自然災害と防災」 科学と人間生活「課題の設定と研究の進め方」 科学と人間生活「化学(科学の進展と社会への貢献及び倫理観の育成について触れる)」 	III：1 III：1 III：1 III：3 III：通年 III：通年	<ul style="list-style-type: none"> 化学基礎「科学と人間生活」 化学基礎「探究活動の進め方」 化学基礎「研究発表のしかた」 化学基礎「(単元に関わる領域のなかで、社会で発生した諸課題に向き合ってきた化学分野の歩みなどに触れる)」 生物基礎「遺伝子とその働き」 生物基礎「生物の多様性と分布」 生物基礎「生態系とその保全」 	III：1 III：2 III：3 III：通年 III：1 III：2 III：3	<ul style="list-style-type: none"> 化学「探究活動を行うに当たって」 化学(科学の進展と社会への貢献及び倫理観の育成について触れる) 生物「バイオテクノロジー」 生物「生殖と発生」 生物「生態系」 物理「放射線の影響と医学への応用」 物理「科学技術の発展についての調査発表」 物理(科学の進展と社会への貢献及び倫理観の育成について触れる) 	III：1 III：通年 III：2 III：2 III：2 III：3 III：3 III：通年	
情報	<ul style="list-style-type: none"> 社会と情報「情報とメディア(安心安全の実現、情報の信頼性、インターネットでの情報検索、メディアとは)」 社会と情報「情報社会と情報モラル(情報社会の問題点、情報社会における法と個人の責任)」 社会と情報「情報通信ネットワーク(コミュニケーション手段の発達、インターネットの活用)」 社会と情報「望ましい情報社会の構築(情報システムと人間、問題解決)」 社会と情報「自分の意見をまとめて発表する」 	III：1 III：1 III：2 III：3 III：2				<ul style="list-style-type: none"> 情報の科学「災害時の帰宅モデルを考える」 情報の科学「問題解決の方法とコンピュータの活用」 情報の科学「社会の情報化と人との関わり」 情報の科学「情報社会の安全」 情報の科学「プレゼンテーション」 情報の科学「インターネットの活用(情報社会の未来を考えよう)」 情報の科学「これからの社会と情報モラル」 情報の科学「情報社会の安全とルール」 情報の科学「情報モラルとマナー」 	III：1 III：1 III：1 III：1 III：2 III：2 III：3 III：3 III：3

教科名	第1学年	観点：学期	第2学年	観点：学期	第3学年	観点：学期
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 家庭総合「食生活(食生活の安全と衛生、食生活と文化、持続可能な食生活をめざして(食糧自給率、ロス、安全性、トレーサビリティ、地産地消、フードマイレージ、CFP、食育))」 家庭総合「衣生活(被服の社会的機能、持続可能な衣生活をめざして(生産・消費・輸入、再資源化、被服で出来る省エネルギー))」 家庭総合「住生活(誰もが住みやすい住まい、安全で快適な住生活、健康な住生活、住居の維持と管理、持続可能な住生活をめざして(資源・エネルギー、環境、住宅政策、住民参加のまちづくり))」 家庭総合「これからの社会を創造する(WLB、再挑戦が可能な社会、将来の担い手を育む社会、助け合い支え合う社会、社会の担い手として)」 家庭総合(実習などでは、班を編制し、協力して計画・実施・反省をするなかで、社会性や他者尊重の態度についても育む) 	III 1 III 2 II 3 III II 3 III II III	<ul style="list-style-type: none"> 家庭総合「環境を守る」 家庭総合「キャリアをみつめる」 家庭総合「自分らしい人生をつくる(ライフステージ、青年期、目標設定と意思決定、自立と責任、社会における家族と家庭、家族と法律、職業労働と家事労働、ジェンダー、WLB、地域と福祉)」 家庭総合「子どもと共に育つ(命に対する責任、子どもの育つ力、親として共に育つ、これからの保育環境、子どもの権利と福祉)」 家庭総合「高齢社会を生きる(高齢社会の現状と課題、調査(インタビュー)の方法、高齢者の課題、高齢者を支える、これからの高齢社会と制度)」 家庭総合「ともに生き、ともに支える(私たちの生活と福祉、ともにいきる、ボランティア、社会保障制度、ユニバーサルデザイン)」 家庭総合「経済生活を営む(職業生活、雇用形態の変化、WLB、家計と経済、家計のマネジメント、国民経済、国際経済、意思決定、契約の権利と義務、消費者保護制度、消費者問題、消費者行政、環境問題、持続可能な社会、社会参加)」 	III 1 III 1 III 1 III 1, 2 III 2 III 2 III 2 III 2	<ul style="list-style-type: none"> フードデザイン「食をとりまく現状(ライフスタイル、食料自給率、食の安全性と環境の変化)」 フードデザイン「食品の特徴・表示・安全(食品の生産と流通)」 フードデザイン「食育」 保育「子どもの発達と特性(教育と保護をうける子ども、権利の主体としての子ども)」 保育「子どもの遊びと生活」 保育「子どもの健康管理」 保育「子どもの保育(保育とは何か、保育の環境)」 保育「子どもの福祉と子育て支援(児童福祉の理念と関係法規制度、福祉施設、子育て支援、児童虐待、子育て支援システム、子どもを見守る社会の目)」 	III 1 III 2 III 3 III 1 III 1 III 2 III 2, 3
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 英語Ⅰ「紛争地帯にすむ男の子」 英語Ⅰ「Saki's First Trip to Australia」 英語Ⅰ「チョコレートの話」 英語Ⅰ「珊瑚礁の危機」 英語Ⅰ「自分の意見を英語でまとめ、わかりやすく相手に伝える」 	III 1 II 1 III 2 III 3 III 通年	<ul style="list-style-type: none"> 英語Ⅱ「お風呂にみる文化の違い」 英語Ⅱ「ペンギンと暮らす町」 英語Ⅱ「ホームステイで異文化理解を」 英語Ⅱ「右脳を失った芸術家ブランディ」 英語Ⅱ「笑いの効用とは」 英語Ⅱ「信は力なり」 	III 1 III 1 III 2 III 2 III 2 III 2	<ul style="list-style-type: none"> 英語Ⅲ「世界で愛されるサッカーの起源」 英語Ⅲ「言語が消滅するとは」 英語Ⅲ「金子みすゞの作品にふれる」 英語Ⅲ「アンネの日記と隠れ家」 英語Ⅲ「日本人に愛されるマグロ」 英語Ⅲ「現代社会に欠かせないアマル」 英語Ⅲ「貴重な水資源」 英語Ⅲ「日本のものづくり・技術力」 	III 1 III 1 III 1 III 2 III 2 III 2 III 3 III 3
			<ul style="list-style-type: none"> 中国語、韓国語 全単元を通じて、中国・韓国など異なる国や文化を日本と比べながら学んだり、自分の意見を適切に表現する方法を学んだり実践したりすることで、他者の意見や異なる文化を尊重し、客観性をもって自己を振り返ることの大切さを学ぶ。 		II 通年 III 年	

教科名	第1学年	観点・学期	第2学年	観点・学期	第3学年	観点・学期
商業					<ul style="list-style-type: none"> ・「企業の組織と意思決定」 ・「人間関係と仕事」 ・「ビジネスマナー」 ・「ビジネスコミュニケーション」(ディスカッション、プレゼンテーション、交渉、ディベート) ・「オフィス業務」 ・「税の申告と納付」 	III 1 III 1 III 2 III 2 III 2 III 3 III 3 IV
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・保健「現代社会と健康」(意思決定・行動選択、病気の予防や飲酒喫煙薬物と健康、感染症、欲求とストレス、交通社会、応急措置と心肺蘇生) ・保健「生涯を通じる健康」(思春期、結婚・家族、加齢・高齢者とその社会的取り組み、医療制度、保険制度、さまざまな保健活動や対策) ・保健「社会生活と健康」(大気汚染、水質汚濁・土壌汚染、健康被害の防止と環境対策、環境衛生活動、食品衛生活動、労働と労働災害) ・体育「運動・スポーツの文化的特徴」(オリンピックと国際理解、スポーツと経済、ドーピングとスポーツ倫理) ・体育「運動・スポーツの学び方」(スポーツの技術と戦術、運動やスポーツでの安全の確保) ・豊かなスポーツライフの設計(生涯スポーツのみ方考え方、ライフスタイルとスポーツ、日本のスポーツ振興) 				III 1 II III 通 III 年 III III	
芸術	全単元を通して、発表へむけて共同して計画を立てたり、議論するなかで、よりよい成果を収めようと努力する姿勢や、他者の発表や作品を真摯に鑑賞したり見聞きすることや質問や助言をすることによって、他者と協力してものごとを達成する力や他者を尊重する態度の育成をめざす。				III 通 年	

特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・LHR(全学年):主権者教育 ・LHR(全学年・学年別):人権教育 ・LHR(全学年):情報モラル講演会 ・LHR(全学年):性教育講演会 ・LHR(全学年):防災教育・避難訓練 ・LHR(全学年):薬物乱用防止教室 ・LHR(全学年):交通安全講習 ・LHR(全学年):生徒総会 ・文化祭・スポーツフェスティバル ・強歩大会・遠足・合唱コンクールなどの各種行事 	II 12 II 12 III 1 III 1 III 1 III 2 III 12 IV 13 III 都度	<ul style="list-style-type: none"> ・LHR(学年毎):喫煙防止教育 ・LHR(学年毎):環境教育 ・宿泊研修(1年) ・修学旅行(2年) ・インターンシップ(2年) ・看護体験、保育体験(2年、3年) ・LHR(学年毎):キャリアガイダンス ・総合学習(学年毎):小論文学習 	III 2 III 13 III 1 III 2 III 都度 III 都度 III 都度 III 都度	<ul style="list-style-type: none"> ・LHR(3年):消費者教育 ・LHR(3年):服育教育 ・LHR(3年):食育(魚料理講習) 	III 3 III 3 III 3
------	---	---	---	---	---	-------------------------

⑥その他

・この基本方針及び全体計画は、平成28年2月に主権者教育担当教員がまとめ、各教科会などの検討を経た上で、平成28年3月に職員会議及び職員研修会にて検討し、学校長の決裁を経た。基本方針及び全体計画は、毎年度当初に改訂等を行い、常に改善を図るものとする。